

第3学年国語科学習指導案

日時 平成18年10月20日5校時
指導者 村上徳彦
児童 男4名 女3名 計7名

1 単元名 進んで話し合い、発表しよう 「分類」ということ

2 単元について

(1) 主な目標

本単元の主たる指導事項は「ア 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと」と「ウ 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと」である。

この力を育てるためには「伝えたい相手と伝えたい事柄を明らかにし、話す目的をはっきりさせる」ことや「自己の考えに固執することなく、話し合い活動に興味を持ち、自ら積極的に話し合いに参加しようとする」力を育てることが大切である。

そこで本単元では、「『分類』や、その観点の違いに興味を持ち、身の回りの事柄について調べ、発表して友達と交流する。」ことを主たる目標とする。

(2) 児童の実態

2年生までに、事柄の順序を考えながら、身近な話題に興味をもって話したり聞いたりする活動をしてきた。また1学期の「道あんないをしよう」では、事柄を順序立ててわかりやすく話すことの必要性を体験してきている。

「話すこと」に関しては、順序立てて話したり、分かりやすく話したりすることは全体的に苦手である。「聞くこと」に関しては、姿勢が崩れていたり、手いじりをしていたりすることが多く、聞き逃すことがまだ度々ある状態である。

(3) 指導にあたって

学習活動が大きく3つに分けられる。まず一つ目は、教科書の挿絵を見て、猫がどのように分類したのかを話し合うことである。「分類」という思考活動を通して、それぞれの観点が違うことに気づき、お互いの考えを尊重しあう心を大切に指導していきたい。

二つ目は、自分で調べる課題を決めて、調べ方を考える活動である。ここでの準備が、後の活動の成否に大きく関わるので、十分に支援していきたい。また、教材の中では、調べ方の一つとして、インタビューの実施を取り上げ、インタビューをするにあたって、敬語などの言葉遣いやマナーなどの大切さに気付かせたい。

三つ目は、発表である。ここでは、相手や目的に応じた多様な発表の仕方が考えられるが、まとめた表や図と、言葉による説明とをどう関係づけるかに気をつけながら指導していきたい。

3 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

分類することの意味に興味を持ち、分類されているものを進んで調べ発表しようとする。

(2) 話すこと・聞くこと

「分類されているもの」を見つけ、分類のしかたやその意味について、聞き手によくわかるように筋道を立てて話すことができる。

話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめることができる。

「ねこの分類」について、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、話し合うことができる。

(3) 言語事項

その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。

相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話すことができる。

4 学習指導計画（14時間扱い）

前單元から

じゅんじょが分かるように、話したり聞いたりしよう「道あんないをしよう」
説明をする時に大事なことを知り、分かりやすく、正確に話したり聞いたりして道案内ゲームを楽しむ。



段階	主な学習活動（時間）	学習活動の工夫	主な評価規準
みとおす	「分類」に興味をもち、実際に分類し話し合うことで、互いの考えを分かり合う。（5） 本時3 / 5	<ul style="list-style-type: none"> 数の偏りを気にせず、自由に分けさせる。 一人一人の考えを比較させ、その中で相違点を見つけさせる。 前回の話し合いを振り返りながら話し合わせる。 	分類に興味を持ち、進んで分類しようとしたり、友達の分類の仕方を聞こうとしたりしている。（観察・発言） 自分の猫の分け方を説明したり、友達の分け方を自分の分け方と比べて聞いたりして話し合っている。（発言・観察）
ふかめる	「分類」ということで、調べたいことを決めて、発表の材料集めをする。（5）	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を決め、発表までの見通しを立てさせる。 図書室で調べたり、インタビューしたりして発表の材料を集める。 観点を決め、調べたことをまとめる。 	自分の調べたいことを決めて、発表する材料を進んで探そうとしている。（観察・ノート）
まとめる	「分類」発表会を開く。（4）	<ul style="list-style-type: none"> 発表の組み立てを考えさせる。 実物や図表などを提示しながら発表する方法もあることを知らせる。 ワークシートなどを利用し、発表の手順を整理させる。 司会を決めて、児童に発表を進行させる。 	場や聞く人の人数に応じ、音量や速さを考えて、発表にふさわしい言葉遣いで話している。（発表） 話す事柄を整理し、順序立てて発表している。（発表） 友達の発表を聞いて、感想を持っている。（観察・発言）



次單元へ

考えを整理して話し合おう「名前をつけよう」
「分類」や、その観点的の違いに興味を持ち、身の回りの事柄について調べ、発表して友達と交流する。

5 本時の指導

(1) 目標

関心・意欲・態度

分類することの意味に興味をもち、互いの考えを比べながら話したり聞いたりしようとする。

話すこと・聞くこと

自分の猫の分け方を説明したり、友達の分け方を自分の考えと比べて聞いたりして話し合うことができる。

言語事項

聞き手に伝わるように、適切な音量や速さで話すことができる。

(2) 本時の指導にあたって

前時に各自で分類したものを発表し、友達の考えと自分の考えを比べて聞いたり話し合ったりする場面である。一人の発表から、同じところや違うところなどを児童が進んで発言できるようにさせていきたい。そして、「話し合い」で大切なことは何かを考えさせたい。

(3) 展開

段階	学習活動(主な発問・児童の反応)	指導上の留意点(・支援 評価)									
み と お す 15 分	<p>1 学習課題を確認する。 課題を読みましよう。</p> <p>なかま分け(分類)について、整理しよう</p> <p>2 話し合いで大切なことを確認する。 話し合いをする時に大切なことは何でしたか。</p> <p><話す人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように分けたかをまず言う。 ・何を手がかりとしたかを言う。 <p><聞き手></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と同じところは何か、違うところは何かを考えながら聞く。 ・わからないところは質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに使用した教科書の拡大図を教室に掲示しておく。 ・前時までの振り返りをし、学習内容を理解させるとともに、本時の課題を確認させる。 ・前時に聞いたCDを思い出させ、または教科書のまとめを見せ、大切な事柄を確認する。 									
ふ か め る 20 分	<p>3 分類したものを発表し、友達の考えと自分の考えを比べる。 自分が考えた分類の仕方を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、何か持っているか持っていないかで分けました。 ・ぼくは持っているもので分けたけど、細かく3つに分けました。「かんづめ」「さかな」「何も持っていない」の3つです。 <p>他に</p> <table border="0"> <tr> <td>・猫の種類</td> <td>・くつ</td> <td>・ひげ</td> </tr> <tr> <td>・かぶりもの</td> <td>・目</td> <td>・しっぽ</td> </tr> <tr> <td>・ようふく</td> <td>・目の色</td> <td>・口</td> </tr> </table>	・猫の種類	・くつ	・ひげ	・かぶりもの	・目	・しっぽ	・ようふく	・目の色	・口	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する人は、「何をもとに」分けたかをはっきりさせて話すように促す。 ・聞く人は、自分の分け方と同じか違うかをはっきりさせながら聞くように促す。何をもとに分けたかをはっきりさせて話すことができる。(ワークシート・発表) 友達の考えと自分の考えを比べて聞くことができる。(態度・発表) ・同じものを手がかりに分けたとしても、他の人と違いを言いやすいように、できるだけ簡単なわけ方をした人から発表させるようにしたい。 ・いろいろな分類の仕方が出てこない場合は、無理に全部出させようとはせず、時間を見てヒントを出していきたい。
・猫の種類	・くつ	・ひげ									
・かぶりもの	・目	・しっぽ									
・ようふく	・目の色	・口									

ま と め る 10 分	4 学習の振り返りをする。 今日の学習の感想を書きましょう。 ・いろいろなわけ方ができたのでよかったです。 ・分け方にはいろいろあるんだなあと思いました。 ・友達の考えを違うところをきちんと言えたのでよかったです。 5 次時の活動の確認をする。 <資料>分類を読んで、さらに分類の仕方について勉強していきましょう。	・ワークシートに感想を書かせ、自分の発表や聞き方について自己評価させる。
---------------------------------	---	--------------------------------------

(4) 具体の評価規準と手立て

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する子への支援)
話す	自分の猫のわけ方を説明したり、友達の分け方を自分の考えと比べて、発表したりすることができる。	自分の猫のわけ方を順序を考えて発表することができる。	学習シートを見ながら、自分の分け方を発表させる。
聞く	友達の分け方を自分の考えと比べて聞くことができ、それぞれのわけ方のよさを考えることができる。	友達の分け方を自分の考えと比べて、同じところや違うところを見つけることができる。	同じところや違うところに気付かせながら、発表を聞かせる。

座席表

教 卓

--	--	--	--

--	--	--

板書計画

「分類」ということ

なかま分けについて、整理しよう

話し合いで大切なことは？

話す人 ・どのように分けたかをまず言う。

・何を手がかりにしたかを言う。

聞く人 ・自分と同じところは何か、ちがうところは何かを

考えながら聞く。

・わからないところはしつもんする。

持ち物

持っていない
持っている

持っていない
さかな
かんづめ

かぶり物

かぶっている
かぶっていない

かぶっていない
三角ぼうし
はちまき

ねこのしゅるい

白ねこ
とらねこ
三毛ねこ

ようふく

着ていない
青
しまもよう

くつ

はいて
はいて
はない
はない
る

そのほか

・目 ・目の色 ・ひげ ・しっぽ ・口